

# 奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉

さらなる充実・前進を始めよう!

会長 阿部 和生

22年5月15日(土) 奈良市中部公民館で第9回通常総会が、開かれました。それぞれの議案に対して、まことに建設的なご意見が出され討議することができました。幹事会において対処すべき課題として検討していたこととも重なり、共通した認識を得ることができ大変有意義でした。各議案はすべて承認され、2年任期の新幹事も承認されたことをご報告致します。



幹事改選期に当たり、6名の方の退任がありました。長年にわたり会の運営その他にご活躍いただいた事、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。「幹事を離れても会員として頑張るよ!」と頼もしい言葉を頂いています。これほどうれしい言葉はありません、感謝です。

18名の幹事枠いっぱいの新幹事が承認され、互選の結果 微力ながら再度会長の重責を担うこととなりました。副会長豊島様をはじめ幹事各位のご協力を得て、会の運営・推進そして前進に努力したいと思います。会員の皆様の御支援・御協力・ご参加をこれからもよろしくお願いいたします。幸い長年の経験・見識を持っておられる川井秀夫氏が顧問就任を快諾して頂きましたので、大所高所からのご指導・助言を得て

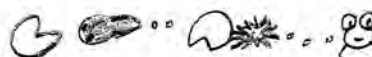
会の運営を進めたいと思います。

しかし「美しい景観と親しむ・やさしく守る」といった発想は、まだ少ないのではないのでしょうか。自然の中にゆったりと自身を置きくつろぎ 樹木に、山野草に新鮮な発見をし、そちこちに囀る小鳥にも耳を傾ける。「これはきれいだなー」思わずつぶやくほどの空間を 再発見し 自由に愛でたいものです。そのような場所をあちこちで見つきたいですね。

明るく! 楽しく! 元気に!

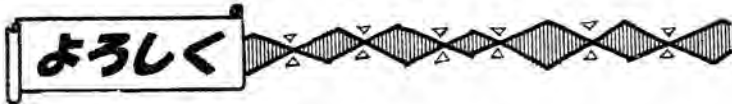
やはりこれが一番です。

緑に恵まれた日本を、より大切に、身近じかなところから 広げてゆきましょう。



## 22年度 幹事他

川井秀夫(顧問) 阿部和生(会長) 板橋宏昌(会計) 勝田 均(編集) 菊川年明  
 木村 裕 倉田 晃 境 寛 塩本勝也 鈴木末一 寺田 孝(事務局長)  
 豊島すみ子(副会長) 西谷範子 平岡久美 藤田秀憲 古川祐司  
 水本遼真 森 英雄 弓場厚次 大石門三(監査役)



### 「自然に親しむ」

倉田 晃

今回幹事の一員に加えていただいた倉田です。シニア自然大学10期終了後インプリ科で校庭の自然観察を中心に活動しています。その経験を活かして、本会が取り組もうとしている小学校での活動をお手伝いする所存です。[自然に親しむ子供は性格も素直で社会性があり、成績も良くなる]という研究結果があるそうです。少しでも自然観察の機会を広げて、心豊かな子供たちが育つように応援できれば良いなと思っています。

### 奈良・人と自然の会 幹事就任挨拶

鈴木 末一

公立高校を定年後、私立大学の入学アドバイザーを経験し、その仕事も4年前に禅譲。以来サンデー毎日の生活を送っていた時、会の活動を見聞し入会させていただいた。「ならやま里山林」のフィールドは、小中学生の頃に父に連れられ山仕事に来ていた地域であり、約半世紀ぶりに目の当たりにした光景は、変貌いちじるしいものであった。

「自然環境教育の実践」とりわけ「有機農法の研鑽」に努めていく所存です。

### 幹事就任にあたって

森 英雄

入会して2年余りで幹事に就任・里山担当という大事な役をおおせつかり、驚き、戸惑っております。皆様のご指導・ご協力をいただきながら何とか勤めたいと思っております。「ボランティアは『やってあげる』のではなく、『させて頂く』もの」との考えの下、奈良県や未来の県民達から預かっている里山を少しでも健康な森にしてお返しさせて頂けたらと考えています。安全で楽しい里山作業を目指して！

### 学びながら

平岡 久美子

「奈良・人と自然の会」に入会して1年、会のことやよくおぼろげに解りかけたところで、幹事の仕事をさせていただくことになりました。この会の発展は、先輩の方々が大きな夢と志を持って努力をされてきた結果である事を会報100号で知り、責任の重さを感じています。どれだけお役に立てるか解りませんが、先輩幹事の皆さんに学びながら、私なりに努めさせていただこうと思っています。よろしく願いいたします。

### ならやまの害虫番付表

木村 裕

昆虫老人ですが、庭木、花、野菜などの害虫も分かりますので、ご相談ください。無料です。

番付	名 前	所属部屋	抱 負
横綱	アワノメイガ	トウモロコシ	今年も美味しい実を全部いただき！ 感謝！
大関	テントウムシダマシ	ナス	葉だけでなく、果実も食べたい
関脇	ヨトウムシ	キャベツ	柔らかい葉っぱをいただき！ 入れ歯も新調した
前頭	アブラムシ	キュウリ	美味しい汁液を腹いっぱい飲むぞ！
番外	カシノナガキクイ	コナラ	今年こそ、仲間に入れてもらいます



## 5月例会報告 春の植物を京都府立植物園で

担当：西谷・守口

5月11日（火）曇り時々雨 10時から15時 参加者 19名

5月とは言え肌寒く散策にはあいにくのお天気でしたが、元気に集合した参加者はそれぞれ身分証明書を見せて植物園に入りました。この植物園ですっとボランティア活動を続けておられる「京とおうみ自然文化クラブ」の谷口さんの案内でたくさんの植物を観察することができました。白と赤の大きな花のシナアブラギリ、白い花が鈴なりのハクウンボク、大きな梅の花のようなバイカウツギ、ひらひらと細い花びらのヒトツバタゴ…歩くたびに参加者の歓声があがります。写真はコガクウツギ、アジサイによく似た

白い花でこれも見事でした。谷口さんの話は個々の植物の説明のみならず、類似種との見分け方、種子散布の巧妙さ、花の色と鳥や虫との関係、栄養貯蔵の方法などなど尽きることがありません。昼食は一面緑の芝生前の休憩所で摂りました。

午後からも観察は続きクスノキの並木道の所では苦節 80年の植物園の歴史や昨

年秋の天皇皇后両陛下の来られたときのエピソードも聞くことができました。樹齢百年近いというクスノキは堂々として見上げると緑のトンネル、見下ろすと赤い落ち葉のカーペットで都会の喧騒を離れた別世界の空間でした。なからぎの森で神社にお参りし、アオバズクの子育ての話聞いた後、「あそこにも行かないと」と連れて行ってくださったのがハンカチノキ、白い大きな苞をひろげて咲いていました。ベニバナトチノキ、黄色の花が垂れ下がるキングサリ、黄色の大きなパラソルのキモッコウバラを見て観察を終えました。



今日の日のために下見をして今一番の見どころの植物を案内してくださった谷口さんに私達は大満足でお礼を言って解散しました。雨模様の植物園は客も少なくしっとり落ち着いた雰囲気、滴る緑が体中にしみ込んで身も心も若返る思いがしました。

(文責・守口)





# ならやまプロジェクト・レポート 22年5月



(古川祐司 記)

4月29日(木)曇/晴れ ビオトープ工事 竹林間伐と筍の収穫 参加者25人

- ・12日から始まったビオトープの池づくりは県の業者による工事がほぼ完了。今日は田圃の湧水の放流、湿地の排水など全体の水路系の整備と、3か所の取水溝、水量調整の樋門を設置する。かなりの力仕事だが、塩本リーダーの指揮のもと男性総がかりの態勢で見事に仕上がった。水路から池への流れを確かめて、全員の顔は満足気でした。これで作業は一段落、今後はどのような生物がやってくるのか、観察しながら、島や水辺の植栽、観察用木道の設置など追々整備していく予定です。
- ・午後は孟宗竹林の整備。適当な間隔になるよう古い竹を間伐する。一昨年来の手入れのおかげでタケノコは豊作。やや育ちすぎたものもあるが、全員が十分な分け前にあずかれる収穫となった。今夜の料理が楽しみと、皆えびす顔でした。
- ・22年度ナスクラブが発足。有機農法によるナス作りにチャレンジして3年目、鈴木さんの指導で早春から土づくりに励んできた成果が試される。メンバー17名は昨年を上回る成績を目指して、水やり当番、コンパニオン・プラントの活用、害虫の早期駆除など手立てを尽くして頑張ると意気盛んです。大いなる成果を期待しましょう。

4月30日(金)晴 雨天予備日 道路沿い草刈り 竹林整備 畑作業 参加者17名

5月6日(木)晴 サツマイモ植付け 椎茸ホダ木組立 田圃の準備 参加者35名

- ・全員総がかりで畑の石ころを除去。昨年までの悩みの種だった石ころ畑がやっとまともなイモ畑になる。1~6号畝に480本のナルトキントキ、a地区に40本のベニアズマを植える。稲藁を敷き水をやり、明日は雨という天気予報に期待する。
- ・3月に菌打ちしたホダ木180本を予定した置き場に組立てて、椎茸の作業は完了。
- ・田圃を北側に広げる。長年放置されたこの場所にはホタルイ、セリ、タデ等の湿地植物が密生している。一応トラクターで荒起こししてあるが、湿地では草引きもなかなかの力仕事だ。男3人、焦らず、無理せず、マイペースで黙々と取り組む。

5月10日(月) 野鳥調査の日 参加者 3名

5月13日(木)晴 A地区林地の竹搬出 里山整備 お楽しみ農園スタート

- ・五月晴れ、38名の参加で盛会となる。今日の全員作業はA地区の竹の搬出。3年間に伐採し積んであった大量の竹を所定の場所へ移動する。あとの林地は今後下草を刈り整備して明るい林床に仕立てていく。
- ・お楽しみ農園がスタートする。スイカ、各種のカボチャ、ズッキーニなど各人思い入れの野菜の苗を鈴木世話人の指導で植え付ける。それぞれ植えた人が愛情と責任を持って世話するこだわりの野菜たちだ。出来栄に期待しよう。
- ・早生種の玉ねぎ、スナップエンドウなどの初物を収穫しました。



5月20日(木)晴 田圃の最終仕上げ 里山整備 参加者 25名

- ・田圃は仕上げの作業。肥料投入、代掻き、畔塗りと、25日の児童の田植の実習に向け準備完了。介添え役の早乙女の皆さんと一緒に、当日の好天を祈ろう。

## ならやま里山林自然観察レポート

### \*ならやま里山林花だより\*

守口 京子

5月17日(月) 命の短い花が多く、お目当ての花を見に行っても花がらになっていることも多く、また来年まで待とうということになります。

草花…ハコベ、ウシハコベ、ノミノフスマ、ヘビイチゴ、ヤブヘビイチゴ、オヘビイチゴ、ムラサキサギゴケ、ハハコグサ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、ゲンゲ、ツボスミレ、ムラサキカタバミ、カタバミ、キュウリグサ、オニタビラコ、ハルジョオン、スズメノテッポウ、オオバコ、オニノゲシ、シロツメクサ、スイバ、ニガナ、ハナニガナ、ヤブジラミ、トウバナ、イ、ニワゼキショウ、アメリカフウロ  
木の花…モチツツジ、ノイバラ、ヤマウルシ、ハリエンジュ、ズミ、クワ、ヒメコウゾ、クロミノニシゴリ

今年もまたヒメコウゾの花が咲きました。直径1cmほどの球状で雄花は白い毛糸のポンポンのよう、雌花は赤紫のふわふわ綿毛です。何度見てもかわいいです。



### ならやま・そば文化クラブ

会員募集中!!

ならやまプロジェクトでは、今年から廃棄田跡地を活用してそばを植付けます。そばは、荒廃地でもよく成長し、開花時には一面の花が見事で、ならやまの秋を彩る景観形成植物となります。

- \*当面の活動： そば打ちの実習・そば栽培の見学・そば料理の勉強など広く蕎麦文化について知見を深めていくことも検討しています。
- \*実技の指導： 田辺 保さん(そば打ち初段 シニア自然大学15期生)  
月1回程度の実習。ご参加を歓迎いたします。関心のある方は事務局までご照会下さい。
- \*申込・照会先： 「ならやま・そば文化クラブ」 事務局 寺田 孝

### 自然俳句欄

#### 茄子苗の接ぎ木の性を思ひたり 秀夫

4月29日、里山にて茄子植苗。石の上にも三年  
今年は大いなる実りに期待が膨らむ。

#### 北山に一木一草初夏の妍 秀夫

5月例会。京都植物園鑑賞。滴る新緑、艶なる花々、  
植物好きには堪らない。初夏の一日。



アジサイ

**奈** 良県大和郡山市の矢田丘陵中腹に、別名「あじさい寺」とも言われる矢田寺があります。このお寺の正式名称は金剛山寺（こんごうせんじ）で名前からもわかるように高野山真言宗の寺院です。別名の通り、花の寺「アジサイ」で有名ですが、「味噌なめ地蔵」の名前を持つ伝説のお地蔵さんが祭られています。

村人が美味しい味噌を作ろうとしますが、なかなかおいしい味噌が作れません。するとある夜のこと、夢の中に矢田寺の地蔵さんが現れて「その味噌を食べさせてくれたらよい味にしてあげる」と告げたそうです。翌朝矢田寺へお参りをし、その石地蔵に味噌をお供えした上に更に地蔵の口にもべったりと味噌を塗りました。

すると美味しい味噌ができましたので、それ以後味噌を作るときには、このお地蔵さまの口に味噌を塗りつけるようになったということです。



アジサイ（紫陽花）

漢方薬として、解熱剤に花を煎じて服用する。

花言葉 移り気

誕生花 6月29日

バラ目 アジサイ科 アジサイ属（新エングラ体系では、ユキノシタ科に含められていた）

学名 *Hydrangea macrophylla*

<癒しの散歩道>

のどかな5月の窓辺のひとりごと

谷川萬太郎

流れ雲に乗り風の波に身を任せ 5月の夢に移る季節のパノラマ覗いてみよう

ほら見てごらん！あそこで揺れる草花が手に手を取って私達に何か話かけている  
そこは蟻さんたちの春のお祭りだ 草の音色にあわせ楽しそうに踊っているのが見える

5月の風は緑のそよかぜ優しさたなびく心地よさ さあ空に向かって大きく手を広げよう

5月の河のせせらぎはふところ深き母の胸のように暖かく懐かしき昔を思い出させる

5月のお花畑は七色に染められ香り漂うオアシスのように蝶も春の恋を探てし舞う

5月の山や鳥達の元気な声 そして新しく生まれたすべての産声伝えるやまびこの便りだ

5月の眼差しは虹色に透き通る まるいシャボン玉が壊れぬように祈り追い続ける

5月の窓辺から流れてきたハイドンの弦楽四重奏曲の調べに酔いしれるひだまりに遊んで

## ホトトギスの落とし文

小田 久美子

ロマンチックな名前の「オトシブミ」はゾウムシに近い仲間の甲虫からの贈り物です。早は各種の木や草の葉を巻いて「ようらん」と呼ばれる巻物を作りその中に卵を産み、孵化した幼虫は「ようらん」を食べて育つのだそうです。名前の由来の一つに、源平争乱の要因ともなった崇徳上皇のお話が残っています。政争に破れて四国に流された上皇は都に帰ることを願いましたが、叶わないまま1164年、四国で崩御されました。初夏ホトトギスが渡って来て鳴くと上皇の思いは募るばかり、ある年一首詠まれました。



《啼かばきく 聞ばみやこそ募はるる

此里すぎよ 山杜鵑》

その気持ちを察したのか翌年から渡ってきてもホトトギスは鳴かなくなり、かわって木の葉を巻いた「落とし文」を置いて行くようになったそうです。昔の人びとは、作り主を実際に見ることの無い「ナゾの葉っぱ」からこんな伝説を作り上げました。そして死後、上皇は強力な怨霊となって都に帰り人びとに災いをなしました。祟りを鎮めるため今でも平安京・平城京に上皇鎮魂のための神社が残っています。思い人に直接渡せないで、その人の前に文を落としたのがロマンチックな「落とし文」に。そして、俳句の季語・茶道の菓子に出てくれば爽やかな季節感を感じる「落とし文」にと変わります。

ホトトギスは万葉の頃から人々が関心を持ち「杜鵑」「時鳥」、子供の頃聞いたお話の鳴いて血を吐く「不如帰」と文系に不動の人気のある鳥です。

### ちいきじょうほう

★(ならやま) 10日センダイムシクイ・オオルリ・キビタキが鳴いていよいよ夏鳥の季節です。野鳥観察から帰ってきたら、古川さんから「オオタカがカラスの集団に追いかけられていた」と聞きました。観察者が鳥観台に居る頃、カラスの賑やかな声が出ていたのはその声だったようです。(小田)



★(斑鳩竜田公園) 9日親スズメがヒナに餌をやりに戻ってきたところに出会いました。

・20日午前6時頃トッキョッキョッキョクのように聞こえましたが、小さな声だったので違うかも? 散歩中に今度ははっきり聴きました。ホトトギスの初鳴きでした。

昨年は6/5でした。

(勝田)

# 行 事 案 内

※原則：前日午後7時前のNHK天気予報で降水確率（午前）60%以上の場合は中止※

## 『ならやま里山林プロジェクト6・7月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所 奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）  
—「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—  
（案内地図が入用の方は、担当幹事までご連絡下さい）

日時	6月 3日（木）	活動日	（ジャガイモ祭りは19日に延期）
	6月10日（木）	活動日	
	6月14日（月）	野鳥調査	（小雨実施）
	6月19日（土）	活動日	（ジャガイモ祭り）
	6月24日（木）	活動日	
	6月30日（水）	雨天予備日	
	7月 1日（木）	活動日	
	7月 8日（木）	活動日	
	7月12日（月）	野鳥調査	（小雨決行）
	7月15日（木）	活動日	
	7月24日（土）	公開イベント	「里山の昆虫観察」
	7月31日（土）	雨天予備日	



### おことわり

6月3日のジャガイモ祭りは、天候不順でジャガイモの生育が悪いため、19日（土）に延期します。なお当日はノー・マイカーとしますのでご協力ください。

集合 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時  
交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場8：23発 高の原行（平日・土曜）  
②近鉄高の原駅 バス1番乗場8：32発 JR奈良行（平日）  
8：30発 JR奈良行（土曜）

① ②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分

携行品など・弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地にて用意）、\*環境保護のため、  
コップ・箸・椀などは各自でご持参下さい。

活動内容・里山林整備、環境整備、植生調査、笹・草刈、花木植栽等の景観形成、  
椎茸作り

・復元田畑での「旬の野菜・健康野菜の有機栽培」、堆肥作り、土作り

\*自由活動日・火曜日、金曜日は「自由活動日」。活動される方はご連絡下さい。

連絡先：担当幹事 古川 鈴木



★6月例会「昆虫に親しむ」……………橿原市昆虫館と周辺の散策

日時：6月2日(水) 近鉄大阪線 大福駅南口 09:30集合

(例：西大寺 08:48 橿原神宮前行急行→八木 09:23 榛原行準急→大福 09:27 着)

行程：大福駅～万葉の森東側遊歩道～橿原市昆虫館～万葉の森西側遊歩道～天香久山～

奈良文化財研究所都城発掘調査部資料室(藤原京跡等資料展示)～畝傍御陵前駅

担当：小嶺 菊川



【6月度 オプション行事のご案内】

東海自然歩道 鳥見山公園から長谷寺へ

麦秋の東海自然歩道、榛原・玉立橋から青龍寺を経てツツジの名所・鳥見山(トミヤマ)公園に向かいます。標高4～500m前後の尾根道を辿り高束城跡から石畳道を下って「まほろば湖」の水鳥を観察しながら「花のみてら」・長谷寺へ巡ります。気楽にご参加ください。



日時：6月11日(金) 午前9時50分集合  
集合：近鉄榛原駅：北口駅前バス乗り場(針インター行10:09発乗車)  
・西大寺<橿原神宮前行各停>8:54…八木9:23(乗換)  
・上本町<青山町行区快>8:52…鶴橋8:55…八木9:33…榛原9:45着  
コース：歩程・約9km  
近鉄榛原駅(バス)玉立橋(420m)…青龍寺…鳥見山公園(昼食)…まほろば湖…長谷寺…近鉄長谷寺駅  
担当：阿部和生 弓場厚次  
★ 当日の天候の判断が難しい時は担当幹事までお問い合わせください。

☆ならやま野鳥調査

～野鳥の会奈良支部・川瀬支部長のご指導による～

日程：6月14日(月)

出発時間・場所：7時・ならやま駐車場 \*5～7月は夏時間です

小雨決行。判断の難しい時は担当者に問い合わせてください。中止の時は次週に順延。

担当者：小田 菊川



<7月の予定>

7月例会(日帰りバスツアー)「山門水源の森」研修観察会

日時：7月3日(土) 雨天決行(警報発令の場合中止)

目的地：「山門水源の森」(滋賀県長浜市西浅井町祝山)

講師：藤本 秀弘氏(元 京都東山高校 教諭)

集合場所・時間：近鉄京都線高の原駅西側スペース AM 8:00 厳守

費用：4000円<当日徴収>

申し込み：予約制・定員25名・先着順・6月15日締め切り

\*FAX 又は Eメールでお願いします。

申し込み先：古川 祐司

担当：川井 秀夫・古川 祐司

\*詳細は会報同封のチラシをご覧ください。





## インタープリテーション入門講座(解説・実習)のご案内

昨年に引き続き「自然の不思議や魅力を楽しく、わかり易く人々に伝えるインタープリテーション入門講座」を今年も開催します。「ならやまフィールドや校庭の自然観察会」などでの今後の活動に活かしていければと思います。関心のある方の多数のご参加をお待ちしています。

- 日 時：7月7日(水)10時～15時 (雨天でも開催)
- 指導担当：シニア自然大学校 インタープリテーション科スタッフ
- 集 合：ならやまフィールド(JR平城山駅下車徒歩 10分) AM10時
- 申込・問合せ：倉田 晃
- 締め切り：6月25日(金)(ただし人数枠の余裕がある場合はそれ以後でも受け付けます。)

## 平成22年5月度幹事会議事録

日時：平成22年4月27日(火) 場所：奈良市中部公民館 司会：境、書記：水本

### 【報告事項】

- ①、会員数133名
- ②、10周年記念企画オプション行事：4/19(月)「柳生から笠置山古道」実施、24名参加
- ③、菜の花祭り：4/10(土)実施 55名参加。
- ④、4月ならやま里山プロジェクト：・22年度活動計画他について報告。\*ピオトープ関連工程については水張りして放置しておく。・県立大学の実習生対応は企画担当が行う。
- ⑤、アースデー：4/24(土)下水道センターにて開催、当会より10名参加。
- ⑥、校庭観察会と正課要請(佐保台小学校、左京小学校)
  - ・佐保台小学校：(9～10月校庭、昆虫、植物観察)、ならやま地区で5年生は田植稲作実習(5/25を予定、会員の協力を)6年生は森林体験学習予定。
  - ・左京小学校：9/15,10/6の午後、1～6年混合約35名で植物観察予定。

### 【討議事項】

- ①21年度決算報告及び22年度予算(案)と会計監査報告
- ②会則変更 了承。

### 【確認事項】

- ①6～9月の行事確認 \*例会のいくつかを土曜日か日曜日に設定していただけないかとの希望が出ていると報告あり。
- ②年間イベントの担当者とサポート者の決定について
  - ・6/3(木)ジャガイモ祭り：イベント責任者(鈴木)：サポート、(西谷、平岡)
  - ・7/24(土)昆虫と自然観察：イベント責任者(菊川)：サポート、(木村、阿部)
  - ・9/20(休)環境フェア(大和高田)：次回決定する。

---

編集後記：\*会報も100号の節目を超えました。少しでも会員の皆様に、より読まれる会報でありたいと考えています。ご意見・投稿をお待ちしています。\*会報発送作業日：7月号の作業は6月30日(水)です。「西奈良ボランティアセンター」で午前9時から行います。ご都合のつく方はご協力お願いいたします。

---

編集担当：勝田 均

TEL&FAX：

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生